

# 伯國の政界

大統領支配下に  
重要閣議開かる

出府中の執政官も参加

一昨十九日(土曜日)午後セツリオ大統領は、恒例に從ひ閣員會議をリオ・チグロ政廳に開催した。時偶ま南大河州合同派の聯邦への提案を中心に行はれたものである。會議の内容に就ては、中央政界には近々急変動が現はれ、問題を良決に導くことになるだらう。

## 提案内容

能力可能のものと實行するべき本命國策を樹立して國政の最善を計る爲め各地より革命主導者を招集し協議研究を爲す。

目下中央政界に多大なセンセイシヨンを起しつゝある。謂ゆる南大河州合同派の聯邦提案なるものと云ふの如く報せられてゐる。

ミナス州元老ア氏の聲明

政府の態度決定の爲

緊急勅令事後承諾を主に左の諸案を協議決定した。

左の諸案を協議決定した。

左の諸案を協議決定した。</

# 舉快の念紀年周年展二胞同

け  
聞  
よ  
見  
報  
快  
の  
こ  
編  
巨  
の  
こ

一九三三年度

伯刺西爾年鑑

伯刺西爾年鑑編纂會

からざる周期に直面して、未だ我在伯同胞社會に、一の羅針盤たるべき『ブラジル年鑑』の無かりし事は一大缺點で、言論界に籍を置く我等の深く責任を感じる處であります。

茲に於て我『伯刺西爾時報社』は、本年の我社十五周年と、來年の同胞發展二十五周年とを紀念し且つ意義あらしむる爲め、總ゆる犠牲を拂ひ努力を費して 約一千頁の一大雄編 伯刺西爾年鑑 を編纂し、來年六月初めを期して諸賢に提供いたします、しかして其の内容と體裁とに至つては、他日説明書きを發表して、如何にそれが『伯刺西爾年鑑』の名に背かざるかをお示しいたしますが、今其の一端を掲ぐるなら、

先づ伯國の部に、伯國の地理、歴史、から筆を起し、政治、經濟、國防、產業、交渉、勞動、社會、婦人、宗教、教育、文藝、美術、音樂等に亘つて其の進歩の徑路、發達の度合を示し、後段邦人の部に於ては、是れより約一ヶ年を費し、各線にそれゝ社員を派して戸別訪問を爲さしめ、二十五年間の發達の模様を細密に調査し、之を年鑑に收め、一目瞭然掌を指すが如くならしめます。

故に本社編纂の『伯刺西爾年鑑』を座右に備ふるなら、社會百般の有様は居ながらして明瞭することになります。乞ふ満天下の同胞諸賢、本年鑑の出版を刮目して待たるよと共に、材料蒐集に對し全幅の御援助賜はらんことを。

過る明治四十一年(西暦一九〇八年)四月廿八日神戸出帆の笠戸丸に、絶大な希望と拘貞を託して渡伯の途に就ける七百九十一名の第一回移民が、同年六月十八日サントスに足跡を印してから、榮えある對伯日本移民史が始められます。爾來断續的に渡來せる在伯同胞は「植民の大使命」に即して營々の努力を惜まず、山爲す困難を排して建設の一途を進みつゝあります、一九三二年(今年)は本紙創刊十五周年に相當し、一九三三年(明年)は我同胞伯國へ雄飛の最初から起算して二十五周年に相當します、顧みて歲月の必ずしも空莫ならざるを感じすると共に、二十有餘年の努力が着々効果を顯し、伯國經濟界に一就中土地開發に一寄與せるは喜びとする處であります。

尙、言葉を強めて云ふならば、二十五年一一世紀の四分の一の短期間に、これ程長足の進歩と、定着の基礎とを形作れる植民史が何處にあらうか、おそらく伯國に於ける我同胞を指いて他に見るを得ないのでなからうか。

だが待て!! メーフラワー號の孤舟に身を託して太西洋を横きり、新世界の建設を以て今日の大を爲せる、彼のビュリタンのそれに比すれば、まだゝ吾々の伯國發展は搖籃時代である、云はねばなりませんまい、故に思ひ茲に至らば、二十餘年の過去は啻に喜ぶだけでなく、寧ろ反省し、考量して更に今後への勇躍を覺悟せねばなりますまい、則ち此の重要にして没却すべ

を表發の本見容内 !!! て待てし目張



政民  
兩黨の差一五六

# 普選第三第次の選當議代士一覽表

(名六十六百四數定 = 舉選總日十二月二)

## 與黨 未曾有の大勝



